



Nagoya GRAMPUS

名古屋グランパス ワイズメンズ クラブ

NAGOYA YMCA 1-2-7 HARUOKA CHIKUSAKU NAGOYA 464-0848 JAPAN

国際会長主題 “YES, we can change” 「私たちは変えられる」
 アジア会長主題 “Action” 「アクション！」
 西日本区理事主題 「未来に残すべきものを守り育てる」
 中部部長主題 「ワイズ総活躍中部」
 クラブ会長主題 「新たな展開に向けて」～クラブの扉と心を開いて仲間を受け入れよう～

がんばれ日本 がんばるワイズ

2018年8月号

—<今月の聖句>—

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」

ヨハネによる福音書3章16節

クラブホームページ：<http://www.ys-chubu.jp/main/gburiten/grampus2017-2018.pdf>

2018年8月例会他ご案内

◎第2期学童キャンプ (担当) 荒川・坂口
 と き：7月30日(月)～8月4日(土)
 と ころ：日和田高原キャンプ場
 給食等サポート

◎8月第二例会 (担当) 高田
 と き：8月28日(火)
 時 間：19:00～20:30
 と ころ：名古屋YMCA本館

◎8月第一例会 『納涼例会』(担当) 服部
 と き：8月7日(火)
 時 間：18:30～
 と ころ：あさくま 栄店
 名古屋栄ワシントンプラザ1F
 猛暑を吹き飛ばす久々の納涼例会です

◎第3期学童キャンプ (担当) 荒川・吉田
 と き：8月20日(月)～8月25日(土)
 と ころ：日和田高原キャンプ場
 給食等サポート

◎金沢犀川クラブ 創立25周年特別例会
 と き：8月11日(土・祝)
 時 間：13:30～18:30
 と ころ：ホテル金沢

7月例会	例 会 出 席 状 況				B Fポイント		クラブファンド(月)	
	在 席 者	14名	第 1 例 会	8名	当 月・切 手		ニコBOXノート	
例会出席者	8名	第 2 例 会	6名	当 月・現 金		感 謝 ファンド		
当月出席率	57%	そ の 他	名	累 計		累 計		

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

＝強い義務感を持つ。義務はすべての権利に伴う

7月第一例会議事録(一泊例会)

書記 高田士嗣

開催日時：2018年7月1日(日) 9時30分
～11時30分

会場：奥びわ湖国民宿舎「つづらお」会議室
出席者：荒川、信田、高田、服部、早川、坂野、
三井、吉田

ゲスト：荒川メット、高田メット、服部メット、坂野メット
トコメット、吉田メット

欠席者：青木、阿部、遠藤、坂口、下村、松原

進行：クラブ書記 高田士嗣

1. 開会宣言・点鐘

2018-2019 クラブ会長 荒川恭次

2. ワイズソング斉唱 全員

- ### 3. 議事定数確認 クラブ書記 高田士嗣
- 会員数14名中8名出席、欠席者6名からは委任を得ている。その結果議決数は成立した。
(名古屋グランパスワイズメンズクラブ会則
第5条 第3項を参照)(資料01)

4. 議案・協議

(1) 新年度活動計画について(資料02、03)

会長主題、事業方針、事業計画について荒川会長が説明し、それに沿った年間活動計画(案)を審議し、一部追記することで承認を得た。新年度は月2回(火)(水)の例会復活しYMCAとの関係を深める。卓話は一般の方にも呼びかけ参加して頂けるようにする。

7月17日(火)例会でクラブ会則の見直しを検討する。4月第1例会は例年東北被災地支援ツアーであるが、今年度はアジア大会(2019年7月)東北開催に振り替える。

(2) 新年度予算について

①一般会計(資料04)

2017-2018年度決算(中間)については承認を得ているため、繰越金額(159,288円)のみが承認された。2018-2019年度予算案は、予備費を計上し収支合計を0円とし、満場一致で承認された。リーダーOB・OG会の支援金額は、関係クラブ(名古屋、東海、南山)との協議で十分な支援金額になると思われる。また、支援金を運用するOB・OG会の活動プログラムを明確にする必要がある。(遠藤さんがアドバイザーとなり4人のメンバーが活躍中)日和田の委員やチャリランラッフル計画等に参加依頼する

②ファンド会計(資料05)

2017-2018年度のファンド収支決算は承認済みであるが、通帳別ファンド全体を資料に明示し情報共有とした。今後の活動支援金は定期預金以外の金額で運用することで承認を得た。

③一般会計の予算外支出承認について

予算項目外の支出については、ファンド会計支出とせず、全て議事承認による一般会計処理とし、年度末決算時の収支がマイナスとなった場

合には、議事承認によりファンド会計より補填する。

(3) 2018-2019 クラブ体制(資料06)

名古屋YMCAの各委員会に参画するクラブの委員についてそれぞれ確認した。日本語学院チューターは日本語学院支援としていろいろな行事に参加を呼びかけ、クラブとの交流を積極的に行う。

(4) 学童キャンプの資金支援について

一般会計より55,000円を「学童キャンプ特定募金」へ支援することが承認された。(資料07)本来の原資はワイズコーン等の販売益(297,797円 ファンド資金)であるが、一般会計からの支出とする。名古屋YMCAに「名古屋グランパス」名で振り込む。「学童キャンプ特定募金」支援をまわりアピールする(税金控除対象にもなる)

(5) 名古屋YMCA会員クリスマス会企画について

今年度のクリスマス例会は、クラブ単独のクリスマス例会の門戸開放を進展させ、YMCA会員クリスマス例会開催をクラブでプロデュースする。担当者(服部、早川、吉田)を中心に南山体育館を会場として、プログラムを検討する。例：クラシックコンサート(15,000円/1人)、キャロル聖歌隊、キリスト生誕劇等

(6) チャリティーランについて(資料08)

近年イベント内容が硬直化しているので、全体が楽しいイベントとなるよう実行委員会に働きかける。例えばリーダー会、OB、OGに企画立案を依頼するなど。

またラッフルの景品集めも協力していく。

5. その他

(1) 新生ワイズ起し運動について

(資料09、10、11)

「新生ワイズ起し運動DVD」にて説明。本運動が今年度のクラブ基本方針、事業計画に繋がることを荒川会長が説明した。また、三井ワイズがクラブ選出の新生ワイズ起し運動中部実行委員であることを再確認した。

(2) 日和田オープニングキャンプについて

参加者を確認 荒川(8日)、信田、三井、早川、吉田(7日)

(3) 仲田夏祭りの出店について

昨年の「トイレットペーパー崩しゲーム」の場所は、ビル工事のため歩道が狭まってゲーム会場設置困難なため、小規模展示が可能な「竹細工販売コーナー(三井担当)」とする。YMCA前の歩道を活用できるが、「トイレットペーパー崩しゲーム」はスペース的に難しいので、リーダーが主体となる他のゲーム(フォーセン釣り等)を行うか否かについて、遠藤連絡主事と早急に相談する。

6. YMCAの歌

全員

7. 閉会点鐘・散会

荒川会長

以上

日和田キャンプ場オープニング作業報告

三井 秀和

日時：7月7日(土)～8日(日)・～一部11日(水)
場所：名古屋 YMCA 御岳・日和田キャンプ場
出席：信田、荒川、三井、吉田、坂口メネット

今年も7月23日から始まる学童キャンプを控えて7月7日(土)～8日(日)今シーズンのワークキャンプが実施されました。今年には岐阜県では豪雨となり飛騨・高山地区に被害が集中、飛騨川の氾濫、東海北陸道通行止めなど大きな災害が発生している中、1400mの高地のキャンプ場では時々弱雨となる程度で作業が進められました。

キャンプ場開場35年を過ぎ、今までリーダー、ワイズらが少しずつ整備をしてきましたが、地元の松坂さんの手助け効果が大きく、キャンプ場らしくなってきましたがまだまだ手を掛けなければならない箇所が多数あり、まず私は到着早々に懸案であった調理用包丁研ぎを持ち込みグランダーで研削砥石を使い今まで切れないと女性陣からのクレームを解決しました。

また緊急に対策が必要となっていた名星舎室内に木屑が床の一部に集中して山のようになっていたため、よく調べたら室内に露出している上部天井棟木と柱とのつなぎ目から羽根アリが削った木屑を落としていることを確認して、一般的な殺虫剤注入と防虫効果があるパラジクロルベンゼン(洋服ダンスの定番防虫剤・白元)を設置した結果、翌朝羽根黒アリの死骸が大量にあり効果を確認。今後白元設置で他の虫の侵入も防げると思います。

また厨房でのグリルプレート欠損で調理に支障が出ていましたが、キャンプ場内で放棄されていた材料らを加工、プレート網とグリルプレートを再生、他に壊れて使用できないベットがありその修理を行いました。



他のメンバーは二日間にわたりリーダーとともに周辺の草刈りとホールでの全テントの防水処理とホールに隙間なく置かれたテントを組み立てて壊れた箇所を確認作業と少ない人員で格闘

しつつ作業進めていきました。

夕食はおいしいBBQでいただき、早めの就寝。



翌8日は南山クラブの面々がキャンプ場前庭でのピザ窯設置基礎工事を開始。7月末に窯の組み立て予定となっています。

Bサイトまで

の湧き水の流入で傷んだ道の修理箇所確認と今年のワークは一応終了となりました。



(湧き水と雨水で削られたひどく荒れた山道)



私は11日まで居残りですが帰った9日朝に大型パワーショベルが着き、早速松坂さんとその義兄とともに部外者乗り入れ防止の為にキャンプ場入り口にチェーンスタンド用

鉄柱の埋め込み作業、周辺道路の落下石の除去、傷んだ道の修理、使用していないゴミ置き場整備らを行い特にBサイト周辺でトイレまでの歩道への湧き水流入がひどくその対策で山側に逃がし溝を作るのに重機が重宝しました。



(山側からの大量の湧き水の左側の山道に流れ込み防止の為に新たに山側に溝を掘り湧き水の山道への流れ込み迂回作業)

今年はリーダー参加もありスムーズに作業が進められましたが、ロートルのワイズが本気で体を使うワークとなり今年も充実した初夏の日和田ワークでした。

2018年第一期学童キャンプ支援

三井秀和

開催日時：2018年7月23日(月)～28日(土)

会場：名古屋 YMCA 日和田キャンプ場

「厨房支援スタッフ」

グランパスクラブ：吉田一誠 三井秀和 坂口久美メネット 会友 坂倉加代子 名古屋クラブ：川本龍資 元リーダー 岡崎 美佳 今井さち子 百谷 聖江 常川 里美

名古屋 YMCA 2018年第一期学童キャンプが7月23日から28日まで名古屋 YMCA 日和田高原キャンプ場にて行われました。学童とスタッフ30名は23日名古屋からJRに乗り木曽福島駅に11時に到着後、南山クラブ 都築氏の手配のマイクロバスに乗り換え、猛暑の名古屋から標高1300mのキャンプ場に着きました。2016年夏休みから名古屋 YMCA が始めた学童キャンプは今年で

3回目となり、これまでの経験を踏まえてメニュー・食材手配・調理手順等も吉田・坂口メネットらのご尽力でマニュアル化することができ、それに基づいてスムーズに余裕ある食事の用意ができるようになりました。

メニュー内容も三色丼、具たくさんポトフ、ドコモコ丼、肉具たくさんミートスパゲティーらすべての食事内容は違い、バラエティーに富んだものとなり大人も満足する味と量を提供できるようになりました。



(チャンネル連調理奮闘中)



今年は常川さんを始めリーダーのチャンネル連と川本氏のギター伴奏でキャンプソングとダンスレッスンがありキャンプらしく子供たちも喜び盛り上がった内容となりました。



今回新たにクラブで購入した綿菓子製造機を持ち込み稼働させましたが、スタッフも含め子供たちも大喜びで今後各期事1回の綿菓子提供をすることにしました。

外のワークでは期間中日和田でも30度超えの気温が続くなか好評のドラム缶風呂の入浴準備、本館一階窓枠修繕と外屋根のハチの巣除去、Bサイトトイレ整備、名星舎の羽根アリ駆除と作業が続きましたが、これから避暑を兼ねて2期、3期と参加する予定です。

一泊例会メネット菅浦散策

高田師之子



今年度の一泊例会は奥琵琶湖の「つづらお」で行われ、琵琶湖湖畔の静かなお宿で楽しい時を過ごしました。一日目の道中はMIHO美術館で芸術鑑賞、大津市の渚庵で珍しい皿そばをいただき、琵琶湖

の西側を一路北上して白鬚神社に寄り「つづらお」に到着しました。二日目は会議のメンと観光のメネットに分かれ、メネット4名は荒川会長手配の菅浦散策に出かけました。菅浦は中世において畿内の先進地区であった琵琶湖北端部つづら尾崎先端に位置し、背後を山々に囲まれた狭い扇状地の集落です。案内人は地元須賀神社の氏子である宿のスタッフさんで、とても

丁寧な説明で菅浦の歴史や現在の生活などがよくわかりました。とても興味深かったのは須賀神社で、淳仁天皇をお祀りし墓所とされる船型御陵があるため今日も水屋から先は素足で参拝するのが習わしです。我々は用意されていたスリッパに履き替えて参拝しました。集落では現在でも「惣(そう)」といわれる自治的村落の風習が色濃く残り、近年発見された「菅浦文書」は国宝に指定されています。この旅では初めて琵琶湖を一周して歴史ロマンを感じる貴重な体験ができました。



一泊例会楽しみましたか

荒川恭次

今年の一泊例会は奥琵琶湖でした。当初西は眼中に無く、南の浜松近辺、北の高山・安曇野近辺を検討しましたが、振り返って名古屋から1時間30分範囲で考えれば、昨年宿泊した奥琵琶湖の「つづらお」がヒットしました。名古屋から西側の関西方面は渋滞のイメージが強く旅行は列車ときめていましたが、「つづらお」は米原から北陸自動車道北上とあまり渋滞を気にしなくて良い位置関係にあり、道中は黒壁スクウェアとか彦根城界限とか面白い場所があるので、グランパスメンバーがそれぞれ道中を楽しめる。「つづらお」は会議室が整っている。バリアフリーである。「つづらお」独自のオプションツアーがある等により決定しました。

6月30日(土)そして私はまずは米原の醒ヶ井養鱒場に向かいました。養老SAで服部・早川両氏と合流し、米原IC降りて10分。ここは歴史ある公営の養鱒場で広大な敷地内に鱒が養殖されています。今回は養鱒場には入場はせず、入口横にある鱒料理専門店



「きたがわ」でニジ鱒ランチを楽しみました。ここの鱒の甘露煮は絶品でお土産に5匹購入しました。

http://www.youson.jp/?page_id=4608

昼食後の経路は高速を使わず8号線を北上、長浜の黒壁には寄らず琵琶湖湖畔を県道331号線を北上、道の駅「湖北みずどりステーション」で甘いアイスクリームを堪能し、さらに北上し県道44号線からR8号に合流、R303に分岐しさらに県道513号線に分岐して15時頃「つづらお」に到着しました。気持ちの良いドライブでした。こうして知らない土地をどんどん進めるのもナビのおかげですね。



YMCAの仲間という意識が子どもたちにも芽生えております。YMCAだから伝えていける気持ちだと感じた出来事でした。みなさまもYMCAにお立ち寄りの際は、窓口の募金箱をぜひ見てください。そして、ご協力よろしく願いいたします。

8月のYMCAの行事・プログラム

学童キャンプ2期 7/30(月)～8/4(金)

学童キャンプ3期 8/20(月)～8/25(土)



名古屋 YMCA グランパス連絡主事

遠藤恵美子

みんなでワイワイと一風呂あびて、夕食を楽しんだ後、ホテル観察に向かいました。「つづらお」からバスで約20分、ホテルの繁殖に力を入れている地域で、ホテルのために街灯が殆どない真っ暗なあぜ道を行くと、柔らかい光の点があちこちに乱舞していました。田んぼの中途では弱いLED灯が点滅しています。これはホテルが反応するため、誰かが懐中電灯をゆっくり点滅させたら何もない暗闇にホテルの光が点滅し始めたことは驚きでした。映画の「未知との遭遇」を連想しました。(真っ暗で写真撮れませんでした)

<http://www.tsuzurao.com/html/experience.html>

翌日、午前中メネット連はオプションツアーの「菅浦散策」へ、メンは会議室に籠って真面目に会議しました。(議事録ご参照)昼食は、R8沿いにある長浜クラブ中川会長のお兄さん経営のレストランにてゆっくり時間を過ごし帰路に着きました。

一泊二日の短旅行でしたが中身の濃い時間を過ごし、いろいろ考えることが出来ました。これから先のグランパスクラブの会長職、その他ワイズ職務、YMCAとの関わり、会社の仕事等この一年は充実を絵にかいたような一年になりそうです。健康第一！

Y M C A た よ り

今年の夏は、大雨が降り大きな災害になった地域もあり、名古屋では高い気温に悩まされるスタートとなりました。

西日本の大雨で大きな被害がありました。名古屋YMCAの本館で行っている学童保育Fun!のメンバーが大雨被害の方への募金箱を作ってくれました。もちろん、本人たちも募金に協力してくれています。自分たちから、YMCAへ来る人へのメッセージやどんな場所で使われるかを絵や文章で伝えてくれています。遠い地域で知らない人だけけど、自分のことのように考えたり、何かできることがないかをリーダーと一緒に考えてくれました。

しばらくして、募金箱がいっぱいになったので、中のお金を一度出して事務所に置いておきました。からっぽの募金箱を見て、募金箱を作った子どもたちが「空っぽなの？」とちょっと悲しそうな表情をしていました。「たくさん集まったから一度お金を出しただけだよ」と伝え、嬉しそうな表情に変わりました。自分たちのよびかけにたくさんの方が応えてくれた喜びを感じていたのだと思います。知らない人に向けてだけ、

2018～2019 グランパス体制

2018-2019 名古屋グランパス体制			
役職	担当者1	担当者2	担当者3
会長	荒川 恭次	****	****
副会長	三井 秀和	****	****
書記	高田 士嗣	****	****
会計	服部 庄三	****	****
直前会長	下村 明子	****	****
監事	早川 政人	****	****
Yサ・ユース	吉田 一誠	坂口 功祐	青木 哲史
地域奉仕・環境	下村 明子	早川 政人	****
E・M・C	信田伊知郎	坂野 清治	****
ファンド・国際交流	服部 庄三	吉田 一誠	松原 行謙
広報・プレン	三井 秀和	荒川 恭次	****
メール委員	下村 明子	****	****
連絡主事	遠藤恵美子	****	****
その他役割			
名古屋地区ワイズ連絡会	服部庄三 (事務局長)	荒川 恭次 (中部情報委員会)	
南山幼稚園理事	吉田 一誠		
西日本区ワイズ将来構想 特別委員会	荒川 恭次 (西日本区)	三井 秀和 (中部委員)	
中部情報委員会	荒川 恭次 (中部HP管理者)	下村 明子	
地域奉仕・環境 中部主査	下村 明子		
YMCA大会実行委員会	服部庄三	荒川 恭次	
日和田キャンプ実行委員会	吉田 一誠(委員長)	荒川 恭次	三井 秀和
YMCAバザー実行委員会	三井 秀和	高田 士嗣	吉田 一誠
街頭募金実行委員会	荒川 恭次(委員長)	服部 庄三	
クリスマスキャロル 実行委員会	早川 政人	松原 行謙	
チャリティラン実行委員会	吉田 一誠(委員長)	高田 士嗣	早川 政人
日本語学院支援	松原 行謙(チューター)	吉田 一誠	

今後の予定

- 9月12日(火) 第一例会 (名古屋YMCA)
- 9月18日(土) 第二例会 (名古屋YMCA)
- 9月22日(土) ~23日(日)
日和田キャンプ場閉場作業
- 9月29日(土) 名古屋YMCA大会
- 9月30日(日) 国際街頭募金
- 10月6日(土) 中部部会 (アイリス愛知)
- 10月28日(日) 南山バザー
- 11月3日(土) チャリティーラン
- 11月10日(土)~11日(日)
DBC京都東稜クラブ交流例会
(ホスト: グランパスクラブ)

その他

1. 7月28日・29日の仲田銀座祭り出店について
台風12号の影響で出店を取りやめました。
2. 今月の誕生日

happy birthday

坂野 信子 (1日)
吉田 一誠 (7日)
阿部 一雄 (8日)
信田伊知郎 (15日)



Congratulation!

3. 一泊フォトギャラリー
高田夫婦お勧め大津市の渚庵皿そば



須賀神社 水屋から先は素足で参拝の令碑



議案、協議が多かった会議終了後



4. 例会等出席状況

No.	氏名	7 / 1 第一例会一泊例会	7 / 7 ~ 8 日和田キャンプ場整備	7 / 17 第二例会	7 / 23 ~ 28 第一期学童キャンプ	7 / 28 ~ 29 仲田銀座祭り 中止
1	青木 哲史					
2	阿部 一雄					
3	荒川 恭次	○	○	○		
4	遠藤恵美子		○	○		
5	坂口 功祐					
6	信田伊知郎	○	○			
7	下村 明子					
8	高田 士嗣	○		○		
9	服部 庄三	○		○		
10	早川 政人	○		○		
11	坂野 清治	○				
12	松原 誠					
13	三井 秀和	○	○	○	○	
14	吉田 一誠	○	○		○	
	計	8	5	6	2	—